

【探求学習】 デジタルアーカイブでつなぐ 伊勢物語と伊勢型紙—古典享受史理解を目指して

第11回S×UKILAM（スキラム）連携
「多様な資料の教材化ワークショップ」 2025.12.26

Aグループ

- | | |
|-------|-------------------|
| 宮本 淳子 | 東京学芸大学／国語 |
| 小森 一輝 | 同志社大学大学院／国語 |
| 那須 充英 | 奈良女子大学附属中等教育学校／国語 |
| 南 かおり | 鈴鹿市教育委員会、中学校社会科 |
| 代田 美里 | 鈴鹿市文化スポーツ部文化財課 |
| 田村 優大 | 東京学芸大学附属図書館 |
| 羽戸 稔明 | 東京学芸大学附属図書館 |
| 南雲修司 | 東京学芸大学附属図書館 |
| 瀬川結美 | 東京学芸大学附属図書館 |



伊勢物語八橋図 尾形光琳筆

https://colbase.nich.go.jp/collection_items/tnm/A-345

（ColBase収蔵 東京国立博物館所蔵）を一部改変。（CC BY）

目次

1. 本教材のねらい
2. 学習指導要領・教科書での扱い
3. 古典指導の課題
4. 指導案（伊勢物語）
5. 江戸時代の『伊勢物語』享受（絵画・工芸品（蒔絵）・型紙・染織）
6. 発展学習① ワークショップ（伊勢紙で和歌カードを作ってみよう）
7. 発展学習② 図書館展示（江戸時代の伊勢物語の享受のあり方）
8. まとめ

1.本教材・活動のねらい

1. 古典文学の中には、後代の文学作品、広く文化一般に影響を及ぼしたものが存在する。『伊勢物語』の場合も、文学作品は勿論、能や歌舞伎、絵画・工芸作品のモチーフともなり、その影響がうかがえる。
2. 本教材は、古典文学の内容理解を深めると共に、デジタルアーカイブ資料を活用することで、古典享受そのものの学習を促進する。
3. 伊勢紙など、地域資料、視覚資料の活用を通じて、文化的広がり、和歌や歌物語の背景にある美意識や見立て文化も同時に学習することができる。

2. 学習指導要領・教科書での扱い

- ・ 中央教育審議会答申

「我が国の言語文化に親しみ、愛情を持って享受し、その担い手として言語文化を継承・発展させる態度を小・中・高等学校を通じて育成するため、伝統文化に関する学習を重視することが必要である。」

- ・ 東京書籍『精選言語文化』(言文702)「『伊勢物語』と絵画・工芸」P.177
- ・ 数研出版『言語文化』(言文707)「古典の享受史『伊勢物語』を例に」p.74
- ・ 数研出版『新編 言語文化』(言文709)「作品解説 伊勢物語」P.212

→ 高校国語教科書では、古典の「享受」という観点が導入されている

3. 古典指導の課題

1. 高等学校では、教材への依存度が高く、主体的な言語活動が軽視され、依然として講義調の伝達型授業に偏っている傾向があり、授業改善に取り組む必要がある。
2. また、文章の内容や表現の仕方を評価し目的に応じて適切に活用すること、多様なメディアから読み取ったことを踏まえて自分の考えを根拠に基づいて的確に表現すること、国語の語彙の構造や特徴を理解すること、古典に対する学習意欲が低いことなどが課題となっている。

(中央教育審議会答申)

→単なる教科書の読解に留まらない、主体的な学びの必要性

4.授業活動案 ー授業の流れ①

1. 伊勢物語について教科書で学習する。

※想定される単元

言語文化...9段東下り、23段筒井筒

古典探究...初段初冠、4段月やあらぬ、（83段小野の雪）

1. 学習した段におけるモチーフを考えてみよう。

（その段を想起できるモチーフは何か？）

（例1 「東下り」）八橋、かきつばた、都鳥

（例2 「月やあらぬ」）月を見上げる人物

（例3 「初冠」）鹿と二人の女性 など

4.授業活動案 ー授業の流れ②

3.グループワーク

本文のどこからイメージしたものか。
このモチーフで伊勢物語は想起できるか。

4.伊勢物語の享受について調べてみよう

※デジタルアーカイブの活用

伊勢物語絵、翻案作品（能・仁勢物語など）、工芸品など

5.発展的活動

- ・モチーフを新たなデザインの作成
- ・伊勢型紙などのデザインを活用した歌カード作成

【授業の流れ②例】挿絵を作ってみよう

- ①挿絵を作ろう→生成AIを使って作る（プロンプトを作る）
→グループワークでお互いのプロンプトと画像を見比べて話し合う
- ②絵から人を抜く→留守文様に見立てる



※左から東下り、初冠、月やあらぬ の挿絵を生成

Geminiを用いて生成

【授業の流れ②例】挿絵を作ってみよう

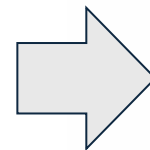
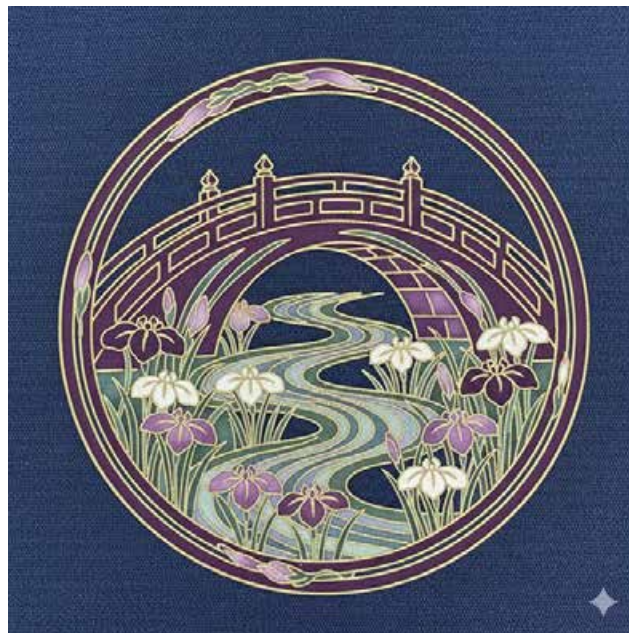
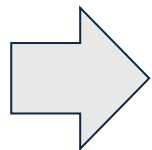
①挿絵を作ろう

プロンプトは「三人の平安貴族の男性が川のほとり木の下で座っている。川には橋がかかっている。川にはきれいなアヤメが咲いている。」)

②絵から人を抜く→留守文様に見立てる

プロンプト I は「川にかかる橋と綺麗に咲いたアヤメを紋様にしてみて」

プロンプト II は「川にかかる橋と綺麗に咲いたアヤメをシンプルな線画の紋様にしてみて」



Geminiを用いて生成

5.江戸時代の『伊勢物語』 享受

『伊勢物語』は文学作品の枠を越え、絵画資料や工芸作品のモチーフとして、取り込まれ、享受されていく。

絵画：伊勢物語絵巻や挿絵入り版本が普及し、寺子屋教材にも利用

(例) 引札類 伊勢物語 八橋 (ColBase収蔵 京都国立博物館所蔵 CCBY)

https://colbase.nich.go.jp/collection_items/kyohaku/A%E7%94%B2798-116



工芸品：蒔絵の硯箱・文箱に場面や和歌を意匠化

(例) 武蔵野図屏風 (東京富士美術館所蔵 CC0)

<https://www.fujibi.or.jp/collection/artwork/00657/>

八橋蒔絵螺鈿硯箱

(ColBase収蔵 東京国立博物館所蔵 CCBY)

<https://jpsearch.go.jp/item/cobas-81042>



5.江戸時代の伊勢物語享受—視覚化された古典世界

染織・型紙：着物文様に古典モチーフ（桜・波・雁）を反映

（例）白麻地八橋に燕文様染繡帷子（京都国立博物館所蔵 CC BY)

<https://jpsearch.go.jp/item/cobas-1444>

「杜若が咲き乱れる八橋の意匠は『伊勢物語』第九段、主人公の業平が東国へ下る途上の「三河国八橋」を表したもの」（同ページより引用）



文化的広がり：文学・演劇・美術・工芸に影響

（例）業平東下り蒔絵象嵌櫛（京都国立博物館所蔵 CC BY)

<https://jpsearch.go.jp/item/cobas-1157>

表面に在原業平と従者が描写されている→



発展的学習活動案

1. 発展学習① ワークショップ

(伊勢紙で和歌カードを作ってみよう)

1. 発展学習② 図書館展示

(江戸時代の伊勢物語の享受のあり方)



伊勢物語八橋図 尾形光琳筆

https://colbase.nich.go.jp/collection_items/tnm/A-345

(ColBase収蔵 東京国立博物館所蔵) を一部改変. (CC BY)

6. 発展的学習活動案① ー伊勢紙で和歌カードを作ってみよう

『伊勢物語』の享受を学んだ上で、現代における文化の継承と発展のあり方を考える活動

- 伊勢型紙を用いた創作活動

(例 和歌カード、小物制作、モチーフを用いた新しい型紙デザインの作成)

※伊勢型紙のデザインを料紙にして、デザインの元になった和歌を書く。

(中学書写の活動として、または高校書道との教科横断として)

- 伊勢物語の意匠を用いた現代のデザインを作ろう

※美術・工芸などとの教科横断

- 現代に残る古典の意匠を探ろう (探究的活動)

※地理 (地形・地名・産業) などとの教科横断

● 伊勢型紙を用いた創作活動



みんなの郷土資料室デジタル・アーカイブ収録

鈴鹿市郷土資料室所蔵

「梅」CC BY-SA (表示-継承)

<https://adeac.jp/suzukabunkazai/catalog/ct001003>

学習した段におけるモチーフ
を考えてみよう

伊勢型紙で時期を、文字の色
と背景の色で夜明けっぽさを出しました。

も
と
の
身
に
し
て

わ
が
身
ひ
と
つ
は

春
な
ら
ぬ

春
や
昔
の

月
や
あ
ら
ぬ

・ 和歌カード



みんなの郷土資料室デジタル・アーカイブ収録 鈴鹿市郷土資料室所蔵

「竜田川」 CC BY-SA (表示-継承)

<https://adeac.jp/suzukabunkazai/catalog/ct001562>

6. 発展的学習活動案② ー江戸時代の伊勢物語の享受のあり方

学校図書館での展示活動

・伊勢紙・美術品（屏風・絵巻）、工芸品（かるた、ひいながた）、謡本などの中に描かれる、留守文様（人物や橋を描かず、モチーフで物語を想起させる紋様）を取り上げ、江戸時代の「伊勢物語」の享受のあり方の一端を示す。

例1 『東下り』第9段「八橋」より燕子花をモチーフに
光琳『燕子花図屏風』根津美術館

留守紋様（るすもよう）とは：
古典物語の登場人物をあえて描かず、代わりに、持ち物や風景など、象徴、モチーフを描くことで、物語作品や登場人物を暗示する紋様表現のこと。



例2 尾形光琳作『八橋蒔絵螺鈿硯箱』
(ColBase収蔵 東京国立博物館所蔵を一部改変 CCBY)

<https://jpsearch.go.jp/item/cobas-81042>

参考になりそうな資料（伊勢物語関係資料①）

- ・ 業平東下り蒔絵象嵌櫛

<https://jpsearch.go.jp/item/cobas-1157>

※くし 表面には騎馬の業平と従者。裏面には大きく富士山があらわされている。

「時知らぬ山は富士の嶺 ひとつてか鹿の子まだらに雪の振るらむ」と詠んだ『伊勢物語』東下りの段を典拠

- ・ 八橋蒔絵螺鈿硯箱

<https://jpsearch.go.jp/item/cobas-81042>

※硯箱 『伊勢物語』第九段、三河国八橋の情景を描いた硯箱

- ・ 引札類 伊勢物語 八橋

https://colbase.nich.go.jp/collection_items/kyohaku/A%E7%94%B2798-116

※絵画 引き札とは昔のチラシ、パンフレット

- ・ 伊勢物語絵巻__巻第6 ※絵巻

<https://webarchives.tnm.jp/imgsearch/show/C0077703>

- ・ 伊勢物語八橋図 ※尾形光琳

https://colbase.nich.go.jp/collection_items/tnm/A-345

- ・ 伊勢物語かるた

<https://jpsearch.go.jp/item/cobas-86457>

参考になりそうな資料（伊勢物語関係資料②）

- 白麻地八橋に燕文様染繡帷子

<https://jpsearch.go.jp/item/cobas-1444>

※着物「八橋の意匠は『伊勢物語』第九段、主人公の業平が東国へ下る途上の「三河国八橋」を表したものの」

- 八橋蒔絵螺鈿硯箱

<https://jpsearch.go.jp/item/cobas-81042>

※硯箱 『伊勢物語』第九段、三河国八橋の情景を描いた硯箱

- 武蔵野蒔絵硯箱

<https://jpsearch.go.jp/item/cobas-81124>

※硯箱 『嵯峨本『伊勢物語』第一二段「武蔵野」の挿絵とほぼ共通する意匠の硯箱

- 観桜図屏風

https://colbase.nich.go.jp/collection_items/tnm/A-11157

参考になりそうな資料（伊勢物語関係資料③）

- ・ 「世の中に絶えて桜のなかりせば～」の和歌で知られる『伊勢物語』
第八十二段「渚の院」の一場面。
武蔵野図屏風
<https://www.fujibi.or.jp/collection/artwork/00657/>
- ・ 江戸時代前期（17世紀）
武蔵野図屏風（田家秋景）
<https://www.fujibi.or.jp/collection/artwork/00661/>
- ・ 江戸時代前期-中期（17世紀後半-18世紀）
諸国名物・三河八橋杜若
https://colbase.nich.go.jp/collection_items/tnm/A-10569-6101
- ・ 江戸時代・19世紀
見立伊勢物語（八つ橋）
https://colbase.nich.go.jp/collection_items/tnm/A-10569-1329
※『伊勢物語』第9段「八橋」の見立絵

参考になりそうな資料（教育関係・児童書）

○小学生・中学生向け

- ・ 『まんが古典文学館 伊勢物語』（くもん出版／漫画：後藤長男、監修：平田喜信）
<https://shop.kumonshuppan.com/view/item/004008000018>
- ・ 『竹取物語・伊勢物語』（21世紀版 少年少女古典文学館 第2巻／北杜夫・俵万智）
<https://www.kodansha.co.jp/book/products/0000208439>
- ・ 『新版 伊勢物語 付現代語訳』（角川ソフィア文庫／石田穰二）
<https://www.kadokawa.co.jp/product/199999400501/>
- ・ 『伊勢物語 | 小学館文庫（黒鉄ヒロシ）』（マンガ）
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406651>

参考になりそうな資料（教育関係）

○高校生・大学生向け

- 『新編 日本古典文学全集12・竹取物語／伊勢物語／大和物語／平中物語』
（校注／訳／片桐洋一 校注／訳／福井貞助 校注／訳／高橋正治 校注／訳／清水好子）
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09658012>
- 『伊勢物語 現代語訳付 完全版』（古典教養文庫／上妻純一郎訳）
<https://kotenkyoyo.com/book-jp/unknown-ise-cpl/>
- 『新版 伊勢物語 付現代語訳』（角川ソフィア文庫／石田穰二訳注）
<https://store.kadokawa.co.jp/shop/g/g199999400501/>
- 『伊勢物語 全訳注』（講談社学術文庫／阿部俊子訳注）
<https://www.kodansha.co.jp/book/products/0000150028>
- 岩波文庫『伊勢物語』（大津有一本校注）
<https://www.iwanami.co.jp/book/b270398.html>
- 『伊勢物語を楽しむ』（NHKブックス）
<https://www.nhk-book.co.jp/detail/000062231192020.html>
- 『絵で読む伊勢物語』（山本登朗・和泉書院）
<https://www.izumipb.co.jp/book/b572786.html>

参考になりそうな資料 (一般向け読み物・デジタル展示など)

- ・ デジタル展示 (国文学研究資料館)
伊勢物語に関する展示 (屏風・かるた・絵巻など)
<https://www.nijl.ac.jp/koten/DTenji/ise.html>
- ・ デジタル展示 (関西大学)
覆刻版「嵯峨本伊勢物語」
<http://kul01.lib.kansai-u.ac.jp/library/etenji/isemonogatari/keityou/kaisetsu/index.html>
- ・ デジタル展示 (国立国会図書館)
第一部 学ぶ ～古典の継承～ > 伊勢物語・源氏物語 1
<https://www.ndl.go.jp/exhibit60/copy1/1ise.html>
- ・ デジタル展示 (ポーラ文化研究所：伊勢物語紅板)
<https://www.cosmetic-culture.po-holdings.co.jp/digitalmuseum/decoration/03/dm1019.html>
- ・ デジタル展示 (和泉市久保惣記念美術館：伊勢物語絵巻)
<https://www.ikm-art.jp/digitalmuseum/num/001/0010001000.html>